

第27回 牛乳販売店優良事例発表会

主催：(一社)全国牛乳流通改善協会 後援：(一社)Jミルク



優良事例発表会受賞者と審査員

平成26年度 第27回牛乳販売店優良事例 中央発表会受賞店

- 最優秀賞 農林水産大臣賞**
鹿児島県 株式会社しのはら 篠原 裕一
- 優秀賞 農林水産省生産局長賞**
北海道 有限会社スノーミルク 齋藤 正敏
- 優秀賞 一般社団法人Jミルク会長賞**
徳島県 株式会社岩橋 岩橋 公二
- 優秀賞 一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞**
 - 宮城県 小岩井牛乳女川販売店 和泉 進一
 - 茨城県 豊ミルクセンター 菅野 達雄
 - 神奈川県 ウーベル横須賀ミルクセンター 上村 英輝
 - 岡山県 森永北園ミルクセンター 尾崎 隆裕
 - 香川県 宅配みるく便 浦野 裕之
 - 熊本県 ミルクデリバリー山下 山下 博

鹿島代表 株式会社しのはらが最優秀賞 農林水産大臣賞を受賞 「目指すのは顧客満足度世界」

一般社団法人全国牛乳流通改善協会主催の第27回牛乳販売店優良事例発表会が2月5日(木)、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催されました。今年の発表会には、全国から9店の全改協の加盟店が発表店として選ばれ、「牛乳屋さんの地域貢献をはじめとしたすぐれた取り組みを発表しました。」

第27回牛乳販売店優良事例発表会



発行所 〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエンビル6階
 一般社団法人全国牛乳流通改善協会
 TEL.03-6380-8021 FAX.03-6380-8435
 e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp
 U R L : www.zenkaikyou.or.jp
 twitter: @zenkaikyou
 facebook: 全国牛乳流通改善協会



第二回 牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール 牛乳販売店特別賞受賞作品 「いちごミルク」

紙面から

- 優良事例発表会 (一) (四画)
- 最優秀賞、各賞、主催者挨拶 (二画)
- 経営専門家の評価意見 (二) (三画)
- 来賓祝辞、謝辞 (三画)
- 全改協からのお知らせ (四画)

主催者挨拶

一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長

橋本正敏氏



本日は、大勢の皆さまにお集まりいただきまして、心より感謝申し上げます。ご多用にも関わりませぬ、農林水産省 牛乳乳製品課の出口晴之様、食品小売サービス課の原田嘉二様はじめご来賓の皆様方にご出席いただきましてありがとうございます。また、本事業に多大なご協力をいただいておりますメーカー各位、関係各位の皆さまにも、心から感謝を申し上げます。

さて、最近の情勢ですが、全国5,000店とも言われます全改協の加盟店を取り巻く環境は厳しいものがあります。消費税増税による消費低迷や、4月から予定されている値上げにより、お客様の減少が予想されます。加えて、後継者不足、相次ぐ廃業などにも私どもは胸を痛めています。

暗い話の中、全改協の加盟店である牛乳販売店は、長年にわたりメーカー

当日の東京は降雪の予報が出され、交通機関の乱れが懸念されましたが、幸い発表会の開催には大きな影響は出ませんでした。発表会は、北川副会長の開会の辞、橋本会長の主催者挨拶で開会。9店の全改協の加盟店の代表者が取り組みを発表しました。

経営専門家による取り組み内容の調査をもとにした審査があらかじめ審査委員によってされているため、発表会での審査は発表の説得力を重視しました。

発表後、審査委員による厳正な審査を行い、最優秀賞 農林水産大臣賞、優秀賞 農林水産省生産局長賞、優秀賞 一般社団法人Jミルク会長賞、優秀賞 一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞の各賞が決まりました。最優秀賞には鹿児島県代表の株式会社しのはらが選ばれ、表彰式に移りました。(そのほかの受賞結果は上記のとおりです)

表彰式に次いで、橋本審査委員長からの審査報告、経営専門家の先生方からの講評に続いて、来賓の農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課乳業第一係長 出口晴之氏と、雪印メグミルク株式会社取締役執行役員 西尾啓治氏から祝辞をいただきました。最後に、最優秀賞 農林水産大臣賞を受賞した株式会社しのはら 篠原裕一氏が受賞の謝辞を述べ、村田副会長の閉会の辞をもって終了しました。



あなたの骨と腸をサポート!

森永カルダス

消費者庁許可 保健機能食品(特定保健用食品) 宅配専用1本 180ml ※乳製品乳酸菌飲料

生きたまま腸まで届くビフィズス菌でお腹の調子を整えます!

- ミルクカルシウムが2倍(当社普通牛乳比)
- 鉄分1mg
- 森永独自のビフィズス菌(BB536)
- カルシウムの吸収を助けるビタミンD



森永乳業

商品に関するお問い合わせ

0120-369-465

(受付時間: 土日祝日、年末年始を除く9:00~17:30)



発表会会場風景

さんとともに、宅配、低温物流の専門家として歩んで参りました。今なお、全国約500万軒と言われるお客様から支持をいただいております。生き残っていることも事実です。それぞれの販売店が、地域で工夫を凝らしてたゆまざる努力をしているからです。加盟店が進化していくために、加盟店の不安を取り除くために活動することが私たち全改協の役割であり、農水省の認可を受け発足した私たちでなければできない役割だと考えます。

本発表会も今年で27回と回を重ねるにつれ、生産性重視であった従来の採点方法から、地域貢献・社会活動を重視した採点基準にシフトして参りました。本日の発表内容はその結果が顕著に表れています。発表内容は優良な模範事例として、加盟店全店に配布しますので、明日の業務のご参考にしていただきたいと思います。かつて、「牛乳は牛乳屋から」という時代がありましたが、昭和48年の大店法成立・平成3年の日米構造協議による大店法の見直し、平成10年の大店法撤廃により、牛乳の流通環境が大きく変化し、牛乳販売の主流が変化した結果、かつて2万店以上あった全国の牛乳販売店は、今や全改協加盟店・非加盟店あわせて7、8、000店くらいと推計されます。しかし今なお、牛乳販売店が、一店一店が小さな力にもかかわらず、こうしてがんばっているのは、「低温物流」を誇りを持って担っている販売店の、地域におけるたゆまぬ努力と、加えて、メーカーさんの世の中のニーズを読んだ健康指向などの宅配商品の開発のおかげだと思ひ、感謝いたしております。

今日は、9店の販売店さんの知恵、工夫の結晶を、お聴きいただきます。どうかしっかりとお聴きいただき、地域の加盟店の励みになるよう持ち帰っていただければ幸いです。終わりにになりましたが、流改協の皆さまのおかげで、流改協加盟店として5,000店が存在していることへの感謝と、低温物流を得意とする牛乳販売店が今後も存続するためのお力添えへのお願いを改めて申しあげます。最後に、お集まりいただきました皆さまに心からお礼を申しあげまして、主催者のご挨拶とさせていただきます。

経営専門家の評価意見

優良事例発表会は、事前に提出された資料を基に審査委員が各地区代表の加盟店の取り組み内容を審査し、実際に訪問調査した結果を総合して評価されます。この紙面では、当日の各地区代表の加盟店の発表内容に対する審査委員3名の評価意見をご紹介します。なお各受賞店の取り組みについての詳しい内容は、3月末に発行される優良事例集の冊子をお読みください。

北海道代表

有限会社スノーマイルク

代表者 齋藤 正敏さん



代表者の正敏さん自身が菜園で作った野菜をお得意様に配ったり、冬場は地域の歩道を雪かきする等、様々な活動を行っておられ、地域の皆さんに相当感謝されています。代表者がこのように地域活動を幅広くできる理由は、代表者の息子さんとお嬢さん、スタッフの方々が業務をしっかり行い、販売店を守っていらっしゃるからです。今後も地域貢献活動を続け、「販売店とつきあっているとこんなに生活が楽になるんだよ」ということをもっと広めていただきたいと思ひます。(講評:佐藤卓先生)

宮城県代表

小岩井牛乳女川販売店

代表者 和泉 進さん



東日本大震災の際はご本人も消防団として津波にのみ込まれたという、たいへんな、九死に一生を得る経験をされています。生還されて避難所生活をされていた際に、同じ避難所の方から「配達してくださいよ」という一言を聞き、もう一回やるという決意ができたといひます。この話からも、牛乳販売店というのは地域になくてはならない存在だったのだということが分かります。すべてがなくなつてみて、住民の方も気付かれたのだと思ひます。仮設商店街は私も実際に見てきました。皆さんが、「女川をもう一回盛り上げていこう」と、そんな気持ちを持っていらしゃいます。今はその準備段階であると感じました。女川の町ができる、より多くの住民が女川に帰ってこられるようなまちづくりを和泉さんは進めて行かれると思ひます。また、女川の物産を牛乳販売店を経由して全国に売ろう、という取り組みを、自ら音頭を取つてされています。こういった、自分の商品のみならず地域の商品まで拡大して販売できる、地域に貢献することができるといひ、という事例を改めて勉強させていただきます。今後も皆さまには、温かく見守っていただきたいと思ひます。(講評:佐藤卓先生)

茨城県代表

豊ミルクセンター

代表者 菅野 達雄さん



発表者は菅野 孝晴さん

しい自らの店舗に移転されました。これは、代表者・お父様の達雄さんから学んだ様々なノウハウの集大成だと言えます。また、IT大好き人間でもあります。インターネットによる受注などによって、ご自分と同年代のお客様を開拓しています。ご自分と同年代の若いお客様なので、お客様としてずっと続くはずで、顧客管理するのにもITをうまく使つていらしゃいます。今後もいろいろな挑戦をしてくださることを期待していますので、新たな取り組みをされましたらぜひご報告ください。(講評:佐藤卓先生)

神奈川県代表

ウーベル横須賀ミルクセンター

代表者 上村 英輝さん



発表者は八百屋 佳子さん

集金も入金も、配達員が自ら行つていきます。また、お客様に渡す手折りのチラシも、自分の受け持ちのお客様の分を自分で何百枚も折り込みを行つていきますので、お客様に対して「自分のお客様だ」という愛着を非常に持つていらしゃいます。自分で考え、自分で、どうしたらお客様に喜んでいただけるかという視点からサービスをしています。お店がお客様に満足を提供するというのはもちろん、次の

のステップとして、そこで働く従業員の方々が、お客様がどうしたら喜んでくださるのかを、ご自分たちで考えて取り組んでいる点がほかの加盟店の参考になると思ひます。お店が「従業員に考えさせる」という仕組みをうまく提供していると思ひました。ますます今後おもしろい取り組みをされることを期待しております。(講評:小畑秀之先生)

岡山県代表

森永北園ミルクセンター

代表者 尾崎 隆さん



発表者は高山兼一さん

お客様の声をどう聴くか、ということに非常にこだわりを持たれているお店でした。その特徴的な取り組みが、昼配でした。お客様の要望に基づいて、昼配を開始したとのこと。一般的には、店舗や従業員など、自分たち側の効率のため昼配を採用するのが多いのですが、こちらのお店ではお客様の要望によるスタートでした。非常にすばらしい取り組みだと感じています。(講評:小畑秀之先生)

香川県代表

宅配みるく便

代表者 浦野 裕之さん



「宅配 ひろくん新聞」が特徴的です。この新聞には牛乳のPRはほとんどなく、川柳や、お誕生日おめでとうのの記事がメインです。紙面の裏が一番の重要ポイントです。そこに、それぞれのお客様の今月の請求書、それから、購買金額によるポイントの残高が載っています。そのため、配られたらお客様は必ず読みます。したがって、おもての記事にもあわせて目を通すという仕組みに、ユニークな工夫を感じました。(講評:窪田靖生先生)

●熊本県代表
ミルクデリバリー山下
代表者 山下 博さん



発表の際に触れられなかった、立派な独自技術があります。ご主人の、セミプロの域に達しているという「ギター」です。ギターの腕前が立派な地域貢献の糸口になっており、売り上げに貢献されています。じつは、学生時代にギターの勉強をされるあたり、お父様に「年間遊ばせてくれ」と頼んだそうですが、発表で触れられなかったのが残念でした。(講評:窪田靖生先生)

●鹿児島県代表
株式会社のはり
代表者 篠原 裕さん



「顧客満足世界」を目指す」という言葉がございました。「売り上げ」ではなく、まず「お客様に満足していただく」ということです。

商品の扱いについて、発表の際に触れられていなかったので補足しますと、扱っている二次商品に、卵があります。有機卵の「しの蘭」と「すず加パン」、これらの扱いによってお客様が増えたそうです。(講評:窪田靖生先生)

*窪田先生からは、全般的なお話として、加盟店の皆さまに「牛乳の持つ機能をもっと少し強調してほしい」との意見がありました。「牛乳は医薬品ではありませんから、機能について言い方に注意しなくてはいけない点があります。最近美容にもいいというものも発売されています。「地域の皆さまに健康をお届けすることによって社会に貢献する」などの言い方が考えられます。万が一、売り上げ、経営が低迷するような自体になったら、こういう視点でのアプローチも非常に重要、有効になると思います。お帰りになられたら、もう一度それぞれのお店で考えてみてください」とのアドバイスをいただきました。

本日の中央発表会は、ただいまご覧いただきましたように、発表資料にプラスして聴衆の皆さまに何か訴えたいものがあればぜひ訴えていただきたい、ことばで表現していただきたい、最大限のパフォーマンスを見せていただきたい、というのが目的の一つでした。

審査の基準といたしまして重要視した点が3点ございます。①健全経営をしていること。②今日に至るまでの工夫・努力、これからのチャレンジ。③その成果がどのように現れているのか。これらの点を加味し、慎重に厳正に議論を重ねましたが、本音を申せば甲乙付けがたい結果でした。審査会という性質上、順位を付けさせていただきますが、それは、賞を差し上げるための順位でございます。優劣があるものではないと言っております。

審査委員長
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
会長
橋本 正敏氏



皆さん発表おつかれさまでございます。本日は本当におめでとうございませう。審査経過を説明いたします。今回は、初めに各流改協に応募があった約30店舗のうち、16流改協から推薦がありました。これらの店舗を対象に、昨年10月10日に第二次審査を行い、第二次審査への店舗を選びました。第二次審査へは8店の選出を予定していましたが絞りきれず、今回も、昨年度と同様9店舗が12月12日の第二次審査を受けました。この9店の加盟店

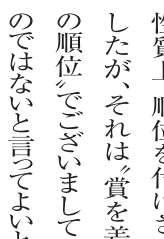
から、経営技術、工夫、努力等が精緻に記載された報告書が提出され、3名の経営専門家の先生に3店舗ずつ現地調査をしていただき、報告書記載内容の精査、修正と、ある程度の評価をしていただき、これをもとに本日の最終審査に至りました。

加盟店の模範となる店舗になっていた。ただ、一層精進していただくことをお願いいたします。審査経過報告とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は第27回牛乳販売店優良事例発表会の開催を心よりお慶び申し上げます。入賞されました皆さま誠にありがとうございます。本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

農林水産省 生産局畜産部
牛乳乳製品課 乳業班第係長
出口 晴之氏



本日は第27回牛乳販売店優良事例発表会の開催を心よりお慶び申し上げます。入賞されました皆さま誠にありがとうございます。本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

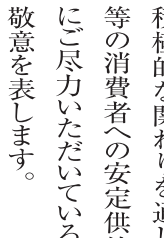
本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

の支援、酪農生産基盤の確保・強化に向けた支援など、支援策を強化していきます。皆さま方のご健勝とご発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

最優秀賞 農林水産大臣賞 受賞
株式会社のはり
篠原 裕一氏



この賞を一番喜んでるのは、当社のお客様だと思っております。一番長いお客様は50年以上、私が勤めてからでも、7年以上のお客様方がいらっしゃいます。これらのお客様から、ただ牛乳を取っていただいているのではなく、「あなたのお店からだから取っている」と言っていただけではないです。

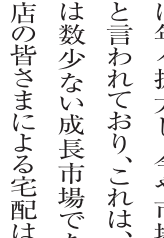
今後、業界を盛り上げ、現在問題になっている、後継者不足等の課題が嘘だつたと言えような時代が来るように、今

後の子どもたちに、「牛乳屋さんってこんなにも楽しい仕事なんだよ、夢のある仕事なんだよ」と伝えていけるモデルになれるように、仕事をしたいと思っております。本日は素敵な賞をいただきまして、本当にありがとうございました。

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

閉会の辞
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
副会長
村田 武司氏



おつかれさまでございました。皆さま方の中には、本日も早朝からの配達をしながらご出席いただいた方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。本日も来賓の皆さま、ご足労をおかけいたしました。本日は誠にありがとうございます。

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

閉会の辞
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
副会長
村田 武司氏



おつかれさまでございました。皆さま方の中には、本日も早朝からの配達をしながらご出席いただいた方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。本日も来賓の皆さま、ご足労をおかけいたしました。本日は誠にありがとうございます。

本日は誠にありがとうございます。雪印メグミルク株式会社 取締役執行役員 市乳事業部長 西尾 啓治氏

全改協からのお知らせ

4月から製品価格値上げ

乳業メーカー大手各社は、4月から製品価格の値上げを発表いたしました。値上げの理由としては、乳価の値上げ、その他飼料や物流費の上昇等が挙げられています。宅配商品も値上げ対象に含まれていますが、メーカーや製品によって値上げの幅は異なります。

平成27年度 地区別代表者会議を開催します

平成27年度の全改協事業の内容をご説明し、同時に、全改協と各地域の流改協との意見交換を行うことで今後の全改協の運営・組織強化を図る「地区別代表者会議」を5月から6月に以下の日程で開催します。

仙台会場：5月30日(土) ホテル法華クラブ仙台

全改協としては、優良事例発表会やミルクカレンダーほかの既存の事業のほか、加盟店の皆さまのためになる事業や、お店の地位向上に役立つ事業を新たに進めて参ります。

東京会場：6月5日(金) 乳業会館
福岡会場：6月6日(土) TKPガーデンシティ博多
大阪会場：6月12日(金) ホテル新大阪
愛知会場：6月13日(土) ホテルサンルート名古屋 *いずれも13:30より

「地域安全パトロール」事業のステッカーについて

前号(第72号)第2面で、「地域安全パトロール」事業の全国展開についてお知らせし、ご協力をお願いいたしました。現在そのパトロールの際に配達車両に貼っていただくステッカーの準備を進めています。

この原稿を書いている時点では最終決定をしていませんが、イラストをあしらった『地域安全パトロール中』というタイトルで、配達時に配達車両に貼っていただく全国統一のステッカーです。

シール式と、貼ってはがせるマグネット式の両方を作成して加盟店の皆さまにお配りする予定です。

詳しいことが決まりましたら、各都道府県流改協を通じてご連絡いたします。

また、6月の「牛乳月間」を中心に、流改協単位で「地域安全パトロール出発式」等を実施される箇所もございます。実施について、流改協からの連絡がありました際は、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

公益財団法人食品流通構造改善促進機構主催「第24回優良食料品小売店等表彰事業」の表彰式が開催されました

独創的な経営技術を駆使し、優れた経営成績を上げている全国の中小の食料品小売店等を発掘し表彰することにより、食品小売事業者等の意欲の向上と食料品小売業界の発展に寄与する「優良経営食料品小売店等表彰事業」(主催(公財)食品流通構造改善促進機構、後援 農林水産省、日本経済新聞社、日本政策金融公庫)の表

彰式が、2月24日(火)に東京都千代田区の法曹会館で開催されました。

全改協からこの事業に推薦された北海道のSK乳販株式会社さんが日本経済新聞社社長賞を、鹿児島県の森永星ヶ峯ミルクセンターさんが日本政策金融公庫総裁賞を、それぞれ受賞される栄誉に輝きました。

新たに「買い物弱者対策モデル事業」を実施します

平成27年度は、全改協事業として「買い物弱者対策モデル事業」を新たに実施します。顧客の高齢化や、相次ぐ大型スーパーの閉店、商店街の“シャッター街”化など地域の問題等の原因により、いわゆる「買い物難民」の増加が懸念されています。

ここで、加盟店の皆さまが牛乳以外の商品(二次商品)を積極的に扱ってお客様に届けていただくことにより、このような問題の解消に役立ち、「牛乳屋さんの地域貢献」「地元に着した牛乳屋さん」として、加盟店の地位の一層の向上が期待されます。

全改協としては、二次商品を宅配する際の安全性、衛生、品質の保持、盗難防止等の観点から「宅配ボックス」を設置することを考え、「買い物弱者対策モデル事業」を実施します。

本年度の事業は、宅配ボックスを、全国の中から地域を考慮して配置し、その使い勝手を検証し、本格実施につなげる予定です。

詳しくは、5月末から6月に開催する「地区別代表者会議」でご説明する予定です。

書籍『牛乳は子どもによくない』発行への対応について

本年1月、『牛乳は子どもによくない』(佐藤章夫 著、PHP新書)という書籍が出版されました。『牛乳のカルシウム』『学校給食と牛乳』『牛乳と乳がん』を主題にして、「牛乳はそんなによいものではない」という視点で執筆した(同書まえがきより)という本で、今後、牛乳有害論や牛乳不要論などを訴える人々の根拠となる懸念があるほか、例えば、「日本人にカルシウムが足りないなどということはない」など、これまで牛乳について言われてきた多くの通説に対して、真っ向から否定する主張も展開されています。

この本に対して、お客様との間で話題になるかもしれないので、現時点での乳業界の考えをJミルクの対応からご紹介します。

この本で述べられている牛乳有害・不要論の多くは、実際にはその事実がない著者独自の主張で、専門家の間でも支持されているとは言えないものです。たとえば「牛乳と乳がんの関連性」として、著者は「牛乳には大量の女性ホルモンと黄体ホルモンが含まれ、これが女性の

乳がんと男性の前立腺がんの最大の誘因である」と主張していますが、国立がん研究センターの報告には「牛乳・乳製品は、乳がん・前立腺がんを含め全てのがんで「データ不十分」とされており、牛乳・乳製品とがんとの関連は示されていません。」とあります。

このほかにも、Jミルクのホームページには、著者 佐藤章夫氏の本書での主張について、学会や関係機関などが公表している情報が示されています。紙面ではご紹介しきれませんので、ぜひホームページをご覧ください。

URL <http://www.j-milk.jp/gyokai/news/berohe00000018qd.html>

または「牛乳は子どもによくない」(佐藤章夫著 PHP新書)への対応(第1報)」で検索してください。

上記のJミルクからの発表は第1報です。現在各研究分野の専門的な視点によるご意見や検討が加えられており、続報が出される予定です。その時点でまたご報告します。

「1日にコップ3杯以上の牛乳を飲むことは骨折予防にならず、死亡率が高くなる可能性がある」(スウェーデンの研究結果)について

昨年10月末、スウェーデン人男女に食事調査をして牛乳を飲んだ量と骨折や死亡との関連を平均最大20年フォローして調べたという結果がイギリスの医学誌に発表され、日本でも一部話題になりました。

この調査結果の正当性には、国内外で疑問が出されています。結果の出し方にも疑問が出ています。

これについて、Jミルクでは「本研究の論文を根拠に牛乳の摂取のあり方を変更すべきではない」という、次のコメントを出しています。調査のことを聞いたお客様から不安の声がありましたら、説明のご参考にしてください。

Jミルクのコメントは、「本研究の論文を根拠に、結論を導くべきでなく、また食事のあり方(牛乳の摂取のあり方)を変更すべきではない。また、このような研究の報道に当たっては、研究の手法や結果に対する他の研究者の評価、同様のテーマで行なわれた他の研究との比較などに配慮することが、特に重要である」と結論づけています。根拠は、次の4点です。

①この研究は観察研究という、健康・疾病に関して何もせずに出たデータを研究した研究の結果である。観察研究は、無数の制約条件に影響されており、正確な因果関

係を示すことができない。

②スウェーデンとその近隣諸国の人々を対象としたものであり、ライフスタイルや生活環境が異なるほかの地域には当てはまらない可能性がある。特にスウェーデンの牛乳には、ビタミンDと関連することが知られているビタミンAが添加されている。

③これまで集積された科学的証拠や多数の論文が、本研究の研究結果とは相反する結果を示している。

④この研究で、牛乳で骨折リスクと死亡率が増加するという結果の論理的根拠として立てられている仮説は、動物による実験モデルを根拠としており、人間にまで一般化できるかどうかは不明である。

くわしくはJミルクのホームページ「スウェーデンの「牛乳の摂取と死亡率・骨折リスク コホート研究」について」

URL <http://www.j-milk.jp/news/berohe000000ju0i.html>

または「Jミルク 食の安全」で検索してください。

ガセリ菌のチカラで、一歩進んだ健康習慣。

雪印メグミルク



ゼロ砂糖・脂肪ゼロ
カロリー(1本当たり)
37kcal



恵
ガセリ菌+
グルタミン
ヨーグルト
フリンクタイプ

カラダをケアする
2つの
機能成分

ガセリ菌 SP株 + グルタミン
腸に生きたまま長くとどまる
体のエネルギー源となるアミノ酸



恵
ガセリ菌+
グルタミン
ヨーグルト

低脂肪
カロリー(1個当たり)
59kcal



写真はイメージです。

宅配専用

雪印メグミルク宅配フリーダイヤル

商品に関するお問い合わせ

0120-758-369

(受付時間:日・祝除く9:00~17:00) <http://www.meg-snow.com/takuhai/>